

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
幼稚部1名 小学部20名 中学部11名 高等部13名 計45名 早期発達支援室3名 総計48名 No.8

積み重ね 積み重ね 積み重ねた上にも又積み重ね

～二学期も「明るく いきいきと」子どもと共に頑張ります～

37日間の夏休みが終わり、今日から二学期が始まりました。篠養の校舎内にも、子どもたちの元気な姿が戻ってきました。

ひと夏を振り返りますと、連日の猛暑日から一転、お盆に入ると天候不順が続き、長雨の影響で甚大な被害が発生した地域もありました。一方では、新型コロナウイルス（デルタ株）の感染が急拡大し、8月20日（金）には、兵庫県に4度目となる「緊急事態宣言」が発出されるなど、ワクチン接種は進んでいるものの、勢いは今尚衰えを見せません。

本市でも、昨年に続き、恒例の夏祭り（デカンショ総踊り）や地域行事が軒並み中止となりました。子どもたちやご家族の方々にとっては、例年以上に制約の多い夏休みだったのではないのでしょうか。そのような中でも、それぞれのご家庭で、有意義な時間をお過ごしただけなら幸いです。

さて、私の好きな言葉の中に、「積み重ね 積み重ね 積み重ねた上にも又積み重ね」という言葉があります。私がこの言葉に初めて出会ったとき、一体、何をどこまで積み重ねればよいのだろう、いつまで積み重ねるのだろう、努力を続けなさいということなのか、終わりはくるのかなど、いろいろと考えたことを思い出します。（一度、ご家庭でも話題にしてみてください。）でも、今は、「何を」とか、「どこまで」「いつまで」などといったことが問題なのではなく、積み重ね、繰り返すという行為が大切なのだと思っています。昨日の上に今日を、今日の上に明日を積み重ね、その積み重ね、繰り返す行為を続けることが、人としての成長につながると考えています。

本来、二学期は学校行事も多く、子どもたちが様々な体験を通して大きく成長を遂げる時です。しかしながら、今後の感染状況によっては、行事内容を大きく変更したり、場合によっては行事を中止せざるを得ない状況も出てくるかもしれません。早速、今日の始業式も予定を変更して、リモートで行いました。これまで学校という場で与えられていた子どもたちの貴重な体験の場が失われることに、不安を感じておられる保護者も多いと思います。でも、そんな時こそ、親として、一人の大人として、子どもたちにプラスの言葉かけをお願いしたいのです。決して否定的、批判的にならず、子どもたちが純粋に学びに向かう姿の中に、新しい価値を見だし、評価してあげてほしいのです。今こそ、そういった機会を、家庭や学校、また地域で増やしていくことが、子どもたちの成長の支えになると考えています。

“after コロナ”から“with コロナ”へ

まず初めに、保護者、地域の皆様には、夏季休業中の子どもたちの暮らしや感染防止にご協力いただきましたことに感謝いたします。

さて、政府より緊急事態宣言の延長と対象地域の拡大が発表された8月17日、ある番組の中で、尾身会長が、次のようなお話をされていました。

内容は、「国民の7割がワクチン接種をしても、感染が下火になることはない…」といったもので、“with コロナ”時代に合わせた法整備の議論の中で、会長が話されたものです。

だとしたら、少なくともしばらくは“with コロナ”が続くということ、私たち学校現場

も、ご家庭や地域でも、共通に認識しておかなければなりません。つまり、“after コロナ”を想定した一年限りの計画ではなく、“with コロナ”を考えた中期的な計画が必要になってくるということです。

学校では、修学旅行や校外学習は、最初からコロナ対応が可能な形で計画する、学習発表会や運動会はオンラインやリモートで密を避けて行う、交流及び共同学習はオンラインや手紙などを複合的に取り入れるなど、計画の段階から“with コロナ”へシフトチェンジする時期に来ています。

先ほども言いましたが、そこにどんな教育的意義と価値を見だし、それを子どもたちに伝えていくかが課題です。保護者や地域の皆様にも、ご協力いただかなければならない大きな課題だと思っています。（一部、令和3年「全肢長通信」8月号より引用）

2学期の教育活動について

新型コロナについての対策は、2学期も継続して行っています。

保護者の皆様には、現在も緊急メールやホームページ等を通して、市教育委員会からの通知等をお知らせしていますが、引き続き、登校前の検温や発熱時の対応等については、ご協力をお願いします。

以下、当面の学校行事等について、現段階での方向性について記載しておきます。今後、変更する場合は、改めて緊急メールや学校のホームページ等でお伝えします。

【全校】

- ・ 厳しい暑さが続きますが、熱中症対策として、十分な身体的距離が確保できる場合や暑さ指数（WBGT）が高い場合は、市のガイドラインに基づき、マスクを外すなど適切に対応します。
- ・ 課外活動（中学部・高等部）については、活動内容や方法を工夫して実施します。
- ・ 居住地校を訪問しての対面による交流（行事等での交流を含む）については、2学期以降中止とします。
- ・ 校外学習については、活動内容等を慎重に検討し、実施する方向で進めていますが、中止する場合があります。
- ・ 参観日やオープンスクール、各種研修会等については、参加人数や範囲を限定して実施する方向で進めていますが、中止する場合があります。

【小学部】

- ・ 小学部6年の修学旅行については、現段階では、9月12日に緊急事態宣言が解除された場合は予定通り実施、延長された場合は日帰りで実施する予定です。（行程等の詳細については、当初の予定から変更する可能性があります。）

【中学部】

- ・ 自然体験学習（小学部・中学部）については、現段階では、9月12日に緊急事態宣言が解除された場合は予定通り実施、延長された場合は日帰りで実施する予定です。

【高等部】

- ・ 高等部3年の修学旅行については、現段階では、11月中旬以降に延期をして実施する方向で進めています。（行程等の詳細については、当初の予定から変更する可能性があります。）
- ・ 高等部の現場施設実習は、高等部生全員が参加できるように、感染対策等については事業所と相談して実施する予定です。